

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たのしい家小倉北

作成日: 令和 3 年 4 月 8 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、夜間の非常時に夜勤者が一人で9名の利用者全員を安全に避難誘導するための訓練を繰り返し行い、実際に職員全員が経験してみることで、短時間で避難誘導する体制を築いていく。	利用者を巻き込まず、職員が利用者役となり、職員同士で行う夜間想定訓練を繰り返し行い、夜勤者が自信を持って夜勤ができる体制を構築していく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ対策以前は、2ヶ月毎に定期的開催しているが、参加メンバーが固定化し、内容も報告が中心になっているので、会議の内容や進め方を検討し、参加委員にとっても知識や情報を得る貴重な会議になる様に取り組んでいく。	薬剤師、市民センター館長、他グループホーム管理者、元家族、地域で活動している有識者等に参加を要請し、ホームの問題だけでなく、地域の身近な課題についても話し合い、地域密着型グループホームとして、地域福祉の拠点となるような会議運営を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。